

## 「死者の中からの復活に達する。」 ピリピ3章10～21節

日本では復活祭は殆ど取り上げられません。クリスマスはイベントとして成り立ちますが、キリスト・イエスの復活を祝うということは、形式的な宗教者である日本人には荷が重いのもかもしれません。

「天国」という言葉は安易に使われています。天国が、死後誰でも行く世界と最近ではされているようです。昔は、地獄が語られており、天国や極楽は言われていなかったのに、世相の移ろいでしょうか。この世の人生が100年としても天国は永遠ですから、そこに安易に住めると考える程、楽天的なものはありません。私は、サタンの惑わしであり、地上の生活を誠実に生きることから目を離すものであると思っています。

最近、多くの方々が、ご自分の老後について、楽観的に考え、何も準備をしていないことに気が付きました。健康についても同様で、不健康になつてからでは遅く、また高齢になると治しがたいのに、いい加減な対応で、突然動けなくなつたり、死んだりしています。資金管理もいい加減で、美食や娯楽に浪費して、経済破綻する人が多くおります。私は、これもサタンの惑わしであると考えております。

バイアスとは、「偏りや偏見、先入観を意味し、認識の歪みや思考の偏りを表す言葉」ですが、現代は情報が多大かつ多様になり、また、意図的に操作して人々を洗脳することが行われています。それは、先週お話ししたSDGsにしても、内容は立派でありながら、効果的な利益獲得手段になつており、コロナワクチンなどは、日本だけで16兆円が投じられ、一部の人々に莫大な利益をもたらしています。それは貧しい人々に多くの犠牲が強いられ、また隠れたワクチン被害をもたらしているのです。

キリストの福音とは、「民を教え、イエスを例にあげて死者の中からの復活を宣べ伝え」（使徒4・2）ることであり、「使徒たちは、主イエスの復活を大きな力をもって証しし、大きな恵みが彼ら全員の上にあつた。」（同3）

クリスチャンで、この復活の凄さをわからない人は、復活も救いも神の国も、バイアスがかかっており、救いの道から外れてしまったか、外れかかっている人です。

私が中3の時、吹奏楽部から抜けた時に、強引に私の手を引っ張り部屋に連れ戻し、演奏に参加させた品川君は恩人です。妻が信仰から離された時に、鹿島まで船津先生と共に親の説得に向向いてくださった大島教授も恩人です。このように信仰から離れた人々を引き戻す人はいないでしょうか。

パウロは、「キリストとその復活の力を知り、キリストの苦難にもあずかって、キリストの死と同じ状態になり、何とかして死者の中からの復活に達したいのです。」（10）と叫びます。イエス様の復活という神の顕現、永遠のいのちの実証を知って、自らも十字架の苦しみにより預かり、伝道する中で死ぬような体験をして、そこからのちを得ることをつかみたいといふのです。

実際、パウロはリステラで伝道し、生まれつき足が動かない人を癒した後、群衆に石打にされて「彼らはパウロが死んだものと思つて、町の外に引きずり出した。しかし、弟子たちがパウロを囲んでいると、彼は立ち上がって町に入つて行つた。」（使徒14・19,20）。この時、パウロは死んでおり、「パラダイスに引き上げられて、言い現わすこともできない、人間が語ることを許されていない言葉を聞きました。」（IIコリント12・2）。そういう体験と信仰をもって、パウロは、「わたしはキリストのゆえに、弱さ、侮辱、苦惱、迫害、困難を喜んでいきます。」（同12・10）という信仰の奥義を身に付けたのです。

終末とは、信仰者が何回も試みを受け、信仰の破船に遭う時です。「私はたびたびあなたがたに言つてきたし、今も涙ながらに言うのですが、多くの人がキリストの十字架の敵として歩んでいるからです。その人たちの最後は滅びです。彼らは欲望を神とし、恥ずべきものを栄光として、地上のことだけを考へる者たちです。」（18,19）。なぜ、パウロは涙を流すのでしょうか。それは、過去に信仰を共にしてきた人たちが、今は「十字架の敵」として、この世の打算に惑わされて歩んでいるからです。礼拝を守ることを軽んじ、次第に聖徒の交わりから離れていきます。「その人たちの最後は滅びです。」恐ろしいことです。

「私たちの国籍は天にあります。そこから主イエス・キリストが救い主として来られるのを、私たちは待ち望んでいます。」そのようにして、この終末を生き抜くことが大事です。

「わたしの名のために、あなたがたはすべての人に憎まれます。しかし、最後まで耐え忍ぶ人は救われます。」（マタイ10・22）。

「不法がはびこるので、多くの人の愛が冷えます。しかし、最後まで耐え忍ぶ人は救われます。」（同24・12,13）。

「キリストは、万物をご自分に従わせることさえできる御力によつて、私たちの卑しいからだを、ご自分の栄光に輝くからだと同じ姿に変えてくださいます。」（ピリピ3・21）

## 1. 信仰に生きるキリストの弟子の養成

主の弟子は状況に左右されず聖霊に聞き従い、神を信じ人を信じて人々の救いと解放をもたらす。十字架に死んで神と共に生きるとは、自分と人々の罪からくる咎を覚悟し信仰と希望と愛とを持って福音の祝福の中に生きることである。キリストの弟子の養成こそ教会の使命である。

## 2. 真理と祈りと讚美に満ちた信仰生活の指導

聖書の教え、真理は人を自由にする。祈りは問題や悩みを解決し、神の御心を確認する。讚美は癒しと喜びと力を与える。教会はそれらを教え指導し、互いの交わりの中で模範を造り出していく。

## 3. キリストを頭として愛によって結び合わされた共同体の形成

教会には多種多様な人々が神によってこの世から召し出されてくる。この信者を整え、神への奉仕という使命を果たすように導くには、キリストの弟子として十字架を負い主に従う指導者層が確立されなければならない。整えられ愛し合い一致した教会こそ神の栄光が現され成長する。

## 4. 隣人に対する愛に基づいた執り成しと伝道の実践

神を愛する人は人をも愛し、行いを伴う信仰を持つ。真理を知らず罪と咎によって苦しんでいる人々を愛し、執り成し、福音を伝えることによってこそクリスチャンは成長し、祝福される。

## 5. 地域と社会に貢献する魅力的な教会員の歩みと家族形成

教会と教会員の活動・事業・啓発運動を展開し、社会に影響を与えながら、同時に愛し合う家族を形成し、接する人々に福音を現していくことが、日本のリバイバルに必要であると私たちは信じる。

# 今週の聖書

ピリ 3:10 私は、キリストとその復活の力を知り、キリストの苦難にもあずかって、キリストの死と同じ状態になり、  
3:11 何とかして死者の中からの復活に達したいのです。  
3:12 私は、すでに得たのでもなく、すでに完全にされているのでもありません。ただ捕らえようとして追求しているのです。そして、それを得るようと、キリスト・イエスが私を捕らえてくださったのです。  
3:13 兄弟たち。私は、自分がすでに捕らえたなどと考えるではありません。ただ一つのこと、すなわち、うしろのものを忘れ、前のものに向かって身を伸ばし、  
3:14 キリスト・イエスにあって神が上に召してくださるといふ、その賞をいただくために、目標を目指して走っているのです。  
3:15 ですから、大人である人はみな、このように考えましょう。もしも、あなたがたが何か違う考え方をしているなら、そのことも神があなたがたに明らかにしてください。  
3:16 ただし、私たちは到達したところを基準にして進むべきです。  
3:17 兄弟たち。私に倣う者となってください。また、あなたがたと同じように私たちを手本として歩んでいる人たちに、目を留めてください。  
3:18 というのは、私はたびたびあなたがたに言ってきたし、今も涙ながらに言うのですが、多くの人がキリストの十字架の敵として歩んでいるからです。  
3:19 その人たちの最後は滅びです。彼らは欲望を神とし、恥ずべきものを栄光として、地上のことだけを考える者たちです。  
3:20 しかし、私たちの国籍は天にあります。そこから主イエス・キリストが救い主として来られるのを、私たちは待ち望んでいます。  
3:21 キリストは、万物をご自分に従わせることさえできる御力によって、私たちの卑しいからだを、ご自分の栄光に輝くからだと同じ姿に変えてくださいます。

Phi 3:10 that I may know Him and the power of His resurrection, and the fellowship of His sufferings, being conformed to His death,  
3:11 if, by any means, I may attain to the resurrection from the dead.  
3:12 Not that I have already attained, or am already perfected; but I press on, that I may lay hold of that for which Christ Jesus has also laid hold of me.  
3:13 Brethren, I do not count myself to have apprehended; but one thing I do, forgetting those things which are behind and reaching forward to those things which are ahead,  
3:14 I press toward the goal for the prize of the upward call of God in Christ Jesus.  
3:15 Therefore let us, as many as are mature, have this mind; and if in anything you think otherwise, God will reveal even this to you.  
3:16 Nevertheless, to the degree that we have already attained, let us walk by the same rule, let us be of the same mind.  
3:17 Brethren, join in following my example, and note those who so walk, as you have us for a pattern.  
3:18 For many walk, of whom I have told you often, and now tell you even weeping, that they are the enemies of the cross of Christ:  
3:19 whose end is destruction, whose god is their belly, and whose glory is in their shame—who set their mind on earthly things.  
3:20 For our citizenship is in heaven, from which we also eagerly wait for the Savior, the Lord Jesus Christ,  
3:21 who will transform our lowly body that it may be conformed to His glorious body, according to the working by which He is able even to subdue all things to Himself.